

事業所名

さぼーとnaviびっぴ

支援プログラム

作成日

令和7年

4月

1日

法人（事業所）理念		私たちは「お客様を笑顔にする」「家族を笑顔にする」「自分が笑顔になる」をモットーに福祉を実践するプロとして地域の発展に貢献し、幸せの輪を広げる活動を実践します。										
支援方針		放課後等デイサービス 「一人一人の個性、発達に合わせた支援を提供し、様々な経験を通して、本人、保護者、地域から必要とされる地域密着型の事業所を目指し、楽しみながら成長できる環境を設定する」 児童発達支援 「5領域を中心とした、一人一人の個性、発達に合わせた支援を行い、楽しみながら成長出来る環境を設定する」										
営業時間		9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	児童発達支援 放課後等デイサービス	基本的な生活習慣（排泄・身支度・脱着・箸の持ち方等）を段階をおって習得できるように、場面の設定を行っていく。 小学生：基本的な生活習慣、排泄・身支度・脱着を習慣化できるように、普段の生活の中で繰り返していく。 中学生：活動を通して、自立に向けた生活に必要な基本的知識や経験を積んでいく。									
	運動・感覚	児童発達支援 放課後等デイサービス	サーキット・感覚遊び・指先のトレーニング・ヨガなどを通して今後の就学に向けた基礎の部分を習得していく。 小学生：姿勢や動作の基本的技能の向上など、感覚の活用を行い力加減や感覚に対する苦手な事への対応を経験する。 中学生：体力向上などの身体的な発達だけでなく、認知発達や社会性の発達にもつなげていく。									
	認知・行動	児童発達支援 放課後等デイサービス	視覚、聴覚、触覚を活用する活動を行い楽しみながら参加していく。 小学生：空間、時間、数等の習得を学校や関係機関と合わせながら、児童の発育に合わせて必要な部分を習得していく。 中学生：記憶、言語理解、注意、知覚、推理判断を経験できる内容を活動に取り入れ経験を積んでいく。									
	言語 コミュニケーション	児童発達支援 放課後等デイサービス	日直、発表、指差し、身振り等を通し関わり方を学びながら成功体験をしていく。 小学生：言語の形成と活用、コミュニケーション能力の向上を自由遊びや集団活動を通して経験していく。 中学生：自主性と協調性を意識できるように、場面に応じた対応を考える事が出来る経験をしていく。									
	人間関係 社会性	児童発達支援 放課後等デイサービス	象徴遊びの支援、共同遊びの支援、集団参加の支援をしていく。 小学生：集団活動等を通して挨拶やルール理解、集団への参加にむけた、ソーシャルスキルトレーニングを実施していく。 中学生：上記の支援を継続し、ソーシャルメディアや公共交通機関の利用方法など自立に向けた練習を行っていく。									
家族支援		相談支援員と連携し、教育機関・デイの情報保護者へと定期的に伝えていく。 デイの送迎時など本人の様子を毎回申し送りする。 保護者と定期的に面談を行い、共通理解で支援を行う。				移行支援		・就学、進学に必要な情報提供等を行い、それに対応した支援の内容を提供していく。				
地域支援・地域連携		相談支援・教育機関・他デイとの連携を定期的に行う。 定期的に関係機関との支援会議、情報共有を行い支援の内容を統一化していく。地域の協議会等に参加し地域全体で児童の情報共有を行っていく。				職員の質の向上		・外部研修の参加 ・社内研修チームによる研修を年2回実施 ・勤務年数等による研修 ・虐待防止研修・身体拘束研修				
主な行事等		事業所行事 親子行事（野外炊事・クリスマス会） 夏祭り 販売会 町民文化祭への作品展示 法人全体行事 いちご狩り 体育館活動 懇親会 餅つき										